

単元名

「Lesson 4 Enjoy Sushi & Project③」

挑戦問題 『ALTの友だちに自分たちの町を紹介しよう』

本単元で育成する資質・能力

知識・技能 情報収集・判断 思考・表現 挑戦・探究 責任・使命 協力・協働 感謝・貢献

期待される生徒の変容

日本の食文化や自分の町に関心を深めるとともに、There + be 動詞+～や動名詞を活用し、外国人の関心・興味に合わせて自分たちの町について紹介する力が身に付くことが期待できる。

平成28年度の取組より

Before 【生徒の振り返りシートより】

- ・英語で質問したりまとめたりするのは大変だなと思います。でも、今まで勉強したことを使ったら、何とかできそうな気がします。
- ・初めて会う外国の人にどうコミュニケーションをとればいいのかと思います。
- ・外国と日本の違いを知りたいと思います。



After 【振り返りシートより】

- ・どこが大事でこういうときに使えるということがよりわかるようになった気がします。それに、授業中も、この言葉が使えるなどになりました。言葉がどんどんうまっていくと、うれしいし楽し

いと感じられました。

- ・以前は、文の意味がわからなくてもとりあえず暗唱していたが、意味をしっかりと理解しないと表現をまとめられないし、わからないところも出てきて、先生に質問するようになりました。今までぼーっと読んでいたのが変わりました。
- ・準備をしていくうちに自分たちの町で知らないところや物事を知ることができて、だんだん楽しくなりました。
- ・教科書に載っている表現を「ふーん」という感じで知るだけでしたが、どんなふうに使えば、どんな場面で使えるかなと意識することが多くなりました。
- ・紹介する場所に、前より興味をもつようになりました。英語にも「こんなふうにするんだ」などと思うようになり、案外おもしろいと思いました。人に興味をもたせるために、自分の知らなかったことや初めてのこともあって楽しかったです。
- ・外国の人と話すことに興味がなかったけど、自分の言葉が通じるのでうれしくなりました。
- ・みんなの説明を聞いて、自分の説明を工夫したり参考にしたりすることができました。



呉名物を試食し、好みを尋ねる



狂言「附子」を英語で演じる

平成29年度指導計画・ワークシートの改善のポイント

前年度と比較すると創意工夫のあるグループが少なく、教師のアドバイスが必要となり改善に時間がかかった。学級集団によっては、前年度の上手なグループの紹介をビデオに残して見せ、他のグループとの競争心を奮い起こす工夫も必要である。これまでに総合的な学習の時間等で身に付けたことを生かすことで、さらに生徒の協力・協働の姿を高めていきたい。指導案においては、評価基準に資質・能力のルーブリックが活用できるよう改善した。